

2018.2.8 (木)
パシフィコ横浜

参加無料

第17回 国土セイフティネットシンポジウム

「災害から学ぶ新たな防災技術」

～ Society5.0で活かす防災技術 ～

近年多発する災害は多様化し、想定できない災害、不意打ちの災害として国民の抱く不安が大きくなっている今日、防災・減災に向けて国内各地のきめ細かな観測網から得られる情報をもとにSIPプロジェクト等で得られた最新の防災技術の社会実装は、多くの企業や国民が期待するところである。災害から身を守る技術は日々進化を遂げ、多くの災害から得た研究課題も創出されてきている。私たちは災害体験から学び未来につなぐ新たな防災技術を提案する。

※Society5.0とは、仮想空間と物理空間の高度な融合によって地域や年齢、性別、言語等による格差を解消し、多様なニーズに応える人間中心の社会を指す。

日時：2018年2月8日（木）13：00～17：00

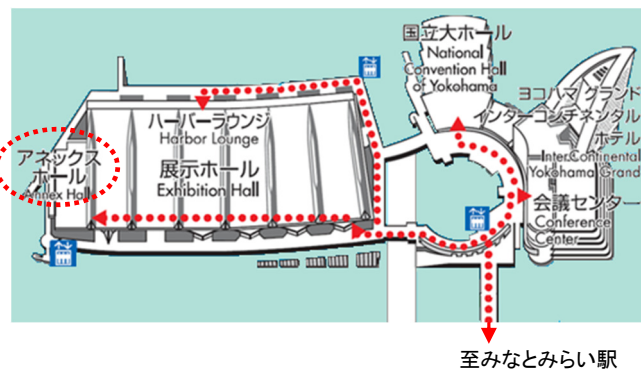
会場：パシフィコ横浜 アネックスホール I・J 会場

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩5分

JR京浜東北線など「桜木町駅」徒歩12分

JR東海道線など「横浜駅」タクシー10分



プログラム

- 開会挨拶 林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
- 来賓挨拶 竹内 英 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長
宮武晃司 内閣府 政策統括官 科学技術イノベーション担当 参事官（安全社会担当）

■ 基調講演 13:20～14:20



AI技術が切り拓く未来の防災技術と展望

上田 修功 国立研究開発法人理化学研究所
革新知能統合研究センター 副センター長

近年、甚大な被害をもたらす自然災害により社会システムの復旧に膨大な時間とコストがかかっています。今後の自然災害に対して、被害を最小限に食い止め、速やかに社会システムを再開可能とするための技術が渴望されています。本講演では、AI技術がこの課題解決にどのように貢献できるかについて関連技術などをご紹介します。

主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所（NIED）
特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会（REIC）

後援：文部科学省、内閣府、国立研究開発法人理化学研究所、公益財団法人地震予知総合研究振興会、東京商工会議所、一般社団法人東北地域づくり協会、特定非営利活動法人日本防災士会

■ Session 1

14:20～14:40

**「SIPレジリエントな防災・減災機能の強化」の研究成果と社会実装の現状**

堀 宗朗 東京大学 地震研究所 教授
SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」プログラムディレクター

本講演は、「SIPレジリエントな防災・減災機能の強化」の概要を説明する。
予測・予防・対応の観点で研究開発された先端技術と、その技術の社会実装の現状を紹介する。

■ Session 2

14:40～15:30

**府省庁連携防災情報共有システム"SIP4D"の実災害適用を通して得られた効果と課題**

臼田 裕一郎 国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター センター長

平成26年から研究開発を進める府省庁連携防災情報共有システム"SIP4D"は、平成27年9月関東・東北豪雨、平成28年熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨と、毎年引き続き発生する実災害に適用してきた。ここでは、その中で得られた効果と今後の課題について紹介する。

■ Session 3

15:40～16:30

**「リアルタイム地震被害推定・把握状況システム」の現状と課題**

藤原 広行 国立研究開発法人防災科学技術研究所
レジリエント防災・減災研究推進センター センター長

SIPで研究開発が進められている「リアルタイム地震被害推定・状況把握システム」では、全国概観版の被害推定システムが構築され実証実験が進められている。その現状について報告するとともに、システムの社会実装に向けた取り組みと今後の課題について考察する。

■ Session 4

16:30～16:45

**「リアルタイム地震推定情報の実験配信」コンソーシアムについて**

大保 直人 特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会 理事長

防災科学技術研究所が推進する、SIP防災課題⑤における研究成果（リアルタイム地震被害推定情報）の社会実験として立ち上げた「ハザード・リスク実験コンソーシアム」の活動内容と提供する情報および実験開始の取組についての現状報告と今後の展開について紹介する。

■ 閉会の挨拶

早山 徹 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 会長

《セミナーお申込み》 第22回「震災対策技術展 横浜」のホームページよりお申込みください。

<http://www.shinsaexpo.com/yokohama/seminar/>

※ セミナー当日、諸般の事情により演題の変更ならびに開始・終了時間の変更がございますこと、あらかじめご了承ください。

《お問合せ》 リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC) 事務局

TEL: 03-5829-6368 E-mail: reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org